



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2020年1月会報 第373号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

主 題 より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow

標 語 さあ動こう On the MOVE!

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)

主 題 アクション! Action!

標 語 誇りと喜びをもって With pride and Pleasure

西日本区理事(RD) 戸所岩雄(彦根シャトー)

主 題 風となれ、光となれ

副 題 こころ豊かにあるために、輝くために

六甲部長 柏原佳子(芦屋)

主 題 スピンネーカーの帆に風を集めて

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 ときめきライフをワイズ活動で!

今月のテーマ: IBC(国際兄弟クラブ)
DBC(国内兄弟クラブ)

国内外を問わず、より多くの交流の場を求め機会を
捉え自ら積極的に行動しよう。

国際・交流事業主任 前田香代子(熊本ジェーンズ)

2020年1月例会

日 時 : 2020年1月8日(水)18:30

場 所 : 宝塚ホテル 翡翠の間

会 費 : 会員 3,100 円 会員以外 3,500 円

ドライバー 杉谷和代 長尾 亘

開会点鐘 多胡葉子会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読 福田素子

祈 禱 谷川 尚

ゲスト・ビジター紹介

会 食

お話し 笑笑亭ちゃめ吉(乙野靖子氏)

ミッチー (筆本美智子氏)

~落語を英語で楽しもう~

YMCA 報告

誕生日のお祝い クラブ会長

ニコニコファンド

閉会点鐘 多胡葉子会長

2019~2020

役員

会長 多胡 葉子 直前会 青柳 美知子
副会長 石田 由美子
書記 若林 成幸
会計 小林 康男 堀江 裕一 吉田 明
会計監査 加藤 光信 今田 和子
連絡主事 谷川 尚
メネット連絡 福田素子
六甲部地域・環境主査 青柳 美知子

誕生日

堀江裕一(12日)
武田 建(19日)
武田寿子(26日)

12

月

実

績

例会出席者数 60名
在籍会員数 21名
出席会員数 17名
出席率 80%
メイクアップ(内数) 0名
メネット 2名
コメント・孫コメント 0名、
ゲスト・ビジター 41名
例会充足率 285%

BFポイント 12月 0円
累 計 17,886円
にこにこBOX 12月 1,500円
累 計 33,000円
ファンド(物品販売) 10,800円
累 計 27,300円

聖句

ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。(マタイ2章2節)

随想

12月25日が過ぎると、クリスマスが終わったような感覚になりますが、実際には、クリスマスとは1月6日の「公現日」まで続く「季節」です。「公現日」は元来、イエスの受洗を祝う日でしたが、やがて、東方からの博士たち(後に欧州の伝統では「王」とされました)の来訪を記念するようになりました。異邦人への顕現、すなわち全世界にイエス・キリストの栄光が顕されることを祝う日とされたのです。

東方からの博士たち(新共同訳では「占星術の学者」ですが、新しい翻訳では「博士」に戻されています)は、星の導きだけを頼りにはるばる東方から旅を続け、ユダヤ人の王たるイエスにたどり着いて喜びに満たされました。その一途さと、それを知ったヘロデ王やエルサレムの住民たちの不安とがマタイ2章では対比されています。それは、救いのしるしを神に求めて懸命に歩む人間と、今の平穏な生活を守ることばかりを考え、神の声に聞こうとしない人間との対比であるとも言えるでしょう。

私たちはどちらの側の人間か。クリスマスの物語はその問いを投げかけてきます。それはまさしく、1年の始まりにあたって私たちが大事にすべき問いなのではないかと思います。

辻学

(ゲストプロフィール)

ちゃめ吉 (乙野靖子さん)



らふらふてい

京都で英語落語の普及を願って笑笑亭英語落語クラブを設立代表。桂枝雀さんとHOEの校長先生と一緒に英語落語が生み出された。今年10月27日設立10周年記念笑笑亭英語落語寄席を開催。大成功をおさめた。国内海外で寄席を開催。

ミッチー (筆本美智子さん)



笑笑亭英語落語クラブ所属。笑笑亭では、小噺の他、“桃太郎”“動物園”“大阪のおばちゃん”“大和撫子”などに挑戦。英語はともかく、落語の所作に四苦八苦の新米落語家“笑笑亭みっちー”です。

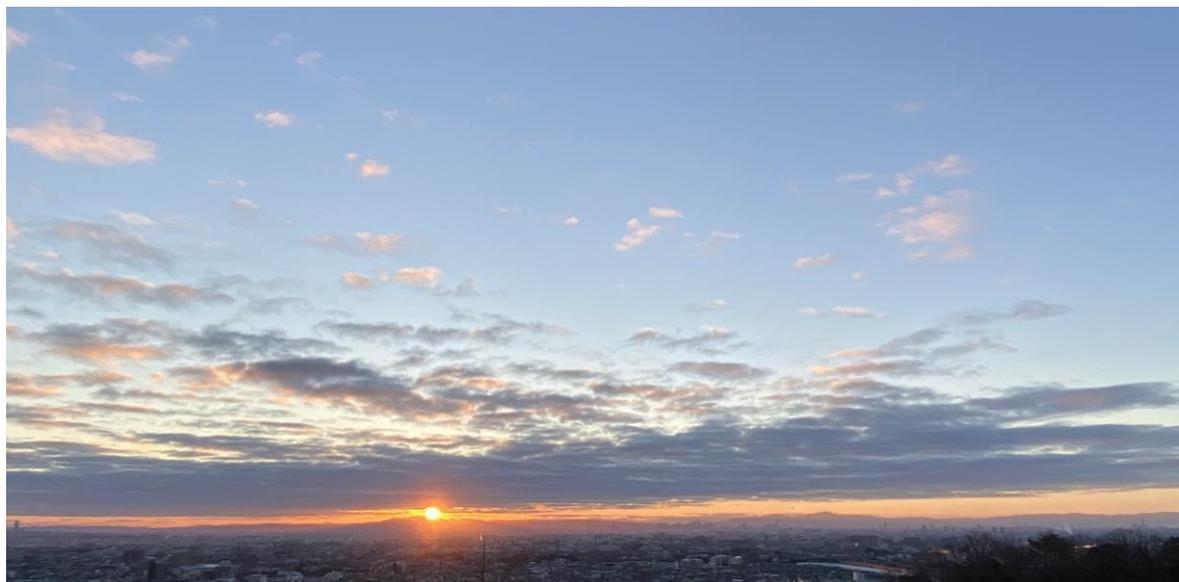
2020 年 1 月 1 日

新年の挨拶

会長 多胡葉子

令和になって初めての新年を迎えます。

おめでとうございます。



「ときめきライフをワイズ活動で！」の主題のもとはや六ヶ月が過ぎました。我々メンバーの高齢化そして長年例会場として使用して来た宝塚ホテルの移転に伴う件などを思いながら S&C (選択と集中) を意識しての活動が続きます。

しかしながらやはり宝塚ワイズのメンバーの動き、活動力はすごい！活動の縮小化を考えながらの 10 月のファンド事業のジャガイモ、そして 12 月の地域活動としての市民クリスマスキャロルを歌う夕べ。二事業ともに終わるのではない。

私たち宝塚ワイズの活動がより豊かなものへと広がり期待できる区切りの活動になったと感じます。

4 月からは例会場は西公民館になります。そこでの例会の持ち方もホテルでは実現できなかった活動などが新たに生み出されるのではと期待を膨らましての新しい年の始まりです。

皆様と一緒にワイズ活動でトキメキをと今年も

どうぞよろしく申し上げます。

12月第1例会報告

12月クリスマス例会は11日(水)大阪土佐堀クラブ、大阪センテニアルクラブ、宝塚クラブの3クラブ合同で行われました。会場の宝塚ホテルが2020年3月末で新しい所に移転することになって居まして最後のクリスマス例会になりました。

プログラムは18時からホテル内のチャペルで宝塚教会の浦上結慈牧師からクリスマスメッセージを頂きました。そして18時45分チャペルからホテルのシルバーの間に会場を移し、多胡葉子宝塚クラブ会長の開会点鐘で例会が始まり、ワイズソングを歌い、ゲスト20名の紹介があり、続いて中村茂高大阪センテニアルクラブ会長の乾杯で宴会が始まりました。



食事の後は楽しい宴会、大阪土佐堀クラブのハーモニカ演奏から始まり、大阪センテニアルクラブのウクレレ、宝塚クラブのフラと続き、終わりに皆でクリスマスソングを歌いました。そして大阪土佐堀クラブ工藤義正会長の閉会点鐘で例会を終わり、



ハワイでは人が集まると別れる時に大きく輪になって歌う「ハワイ アロハ」を歌い親睦を深め、解散後、集合写真を撮りました。

長尾 亘



1月第2例会報告

12月18日(水)18時30分から12月第2例会を西公民館にて開催。多胡会長、青柳、武田、若林、小林、石田、長尾、福田宏子、鯖尻、福家、今田各メンの計11名が出席した。議事要旨は次の通り。

1. 12月第1例会(3クラブ合同クリスマス例会)の会計報告(小林)

- ・例会出席者 土佐堀 12人、センテニアル 14名、宝塚 34名 計 60名
- ・ホテル飲食費は当日徴収の会費で支払済み @5000×62名=310,000
- ・礼拝席上献金は40,200円。神戸YMCAを通じYMCA同盟「地球市民育成プロジェクト」に送金。
- ・誕生会 土佐堀 1名、センテニアル 2名、宝塚 3名 プレゼント代は各クラブ負担。
- ・礼拝奉仕の牧師・奏楽者は謝礼に代えて懇親会に招待。会費相当分を3クラブで分担。

2. 1～3月例会の確認

1月8日 初笑い英語落語 ゲスト:筆本美智子さん、乙野靖子さん

ホテルに舞台の設営を依頼、

2月12日 TOF 例会 杉谷メン「シアトルでの学び」、西宮リーダー「リーダー研修会」の報告を聞く。
食事はカレーライス。自立の家の留学生を招待する。

3月11日 青木俊一郎氏(日中経済貿易センター相談役)「21世紀のグローバル活動と国際貢献」
現ホテルでの最終例会につき Farewell Dinner とし+αのプログラムを考える。

3. キャロルの夕べの準備確認

役割分担表により、来場者の安全、障害者への配慮、弁当・プレゼント準備等について確認した。

4. 次期クラブ会長と次年度会計(試案)の説明

若林メンが次期会長の受諾を表明。次いでS&C(選択と集中)を考慮した会計(試案)の説明があった。改善項目として、年会費の減額、繰越金の一部を次世代睨みの活動資金に振り向ける等、数項目の提案が含まれており、引き続き意見交換をして次年度に備える。

5. 新メーリングアプリの操作方法

新MLの操作に慣れないため、アプリに広告が含まれ読みづらい、添付ファイルが開かないなどの苦情を受けて長尾メンが説明した。操作上の不慣れが要因と思われ、根気よく挑戦していくこととした。

6. 3/8の地域行事への参加

3/8、宝塚FM主催「防災ラジオウオーク」での凧揚げ、及び、はんしん自立の家の「揚がれ、希望の凧」が同日開催となる。当クラブはそれぞれに部分参加をする。11～13:30は末成公園で凧揚げ、14時頃～自立の家の凧揚げを予定。

3/7～8、TIFA主催のNGO展にクラブ活動報告を出展する。3/6(金)午後の設営～3/8(日)15時頃の撤収まで。展示内容等は別途検討する。

7. 1月号ブリテン編集

- 長尾メンから編集方針の説明があり、寄稿分担を相談した。合同例会(長尾)
- ・キャロルを歌うタベ(若林)、近隣クラブ例会参加(青柳・福家)など。

8. その他

- ・国際選挙の投票 多胡会長に一任
- ・1/18 鹿児島クラブ30周年例会、2/22 神戸クラブ 100周年例会への参加者の確認
- ・2/16 さんだクラブ バレンタインコンサートの開催予告

書記 若林 成幸

【年会費納入依頼】

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎えると共にワイズメンズクラブの2019-2020年度も後期の活動が始まります。つきましては、後期会費 2万円 の納入をお願い致します。なお、前期会費が未納の方は前期会費も併せてお願いいたします。

振込先 三菱UFJ銀行 宝塚中山支店 普通預金 4585836
宝塚ワイズメンズクラブ 宛

会計 小林康男

芦屋クラブクリスマス例会

12月23日芦屋クラブ2019年クリスマス祝会に、ホテル竹園芦屋まで鯖尻さんと二人で出かけました。他クラブへの参加は2度目、まして記録係なんて初体験。当日はクリスマスらしい雰囲気盛り上げるために、受付で素敵な銀の首飾りを二つもかけていただいて、総勢66名の人たちとともにテーブルに着きます。第1部は厳粛な礼拝です。女性たちが前に一列に並んで幻想的なローソクの火をともして賛美歌を歌いました。第2部は雰囲気ががらりと変わって、祝辞、食前感謝、乾杯、懇談に入りますと、山下拓郎のジャズカルテットの演奏が素晴らしく、華やかに踊る人達もいてうきうきしてまいります。続くオークションでは、珍しいワインや油絵、真珠のネックレス、そして南アフリカの大きな壁掛けや置物などドンドンと競り落とされていきます。私もたくさんゲットして持ち帰るのに困ったくらいでした。最後に全員でトランペットを先頭に全員が、聖者の行進を歌いながら練り歩きますと、会場が心ひとつになって素晴らしい祝会になっていました。



福家 清美

綿の種取作業ボランティア

毎年恒例、秋になりますと、はんしん自立の家に集まって来ます綿の種取ボランティアが12月から始まります。第1回目は12月2日に多胡会長、武田ワイズ、青柳ワイズ、福家ワイズ、若林ワイズ、若林メネット6名が参加して行われ、第2回目は12月16日に多胡会長、青柳ワイズ、風早ワイズの3人の参加そして第3回目は武庫川がっこうの大塚俊光氏と長尾ワイズが作業に行きました。2019年分は終わり、しかし、まだ約10kg(種がついていますが綿の10kgです)が残って居ます。ボランティア作業が待っています。よろしくお願ひします。



長尾 亘

第15回市民クリスマス 「キャロルを歌う夕べ」を終えて

第15回目の「キャロルを歌う夕べ」を盛会の内に終えることが出来ました。来場者330名、出演者128名、スタッフ13名、皆さんの協力に感謝します。今回は、ゲストとしてテノール歌手 田中良和氏を迎え、宝塚厚生幼稚園園児と同保護者有志コーラス“マザーズ”がデビューし、



二重障害を克服した坂部友淳君がフラダンスの伴奏者



として登場しコンサートを盛り上げて戴きました。これまでの、どちらかというクリスマス音楽を聴いていただくというスタンスから、幼稚園児から後期高齢者までの全ての年齢層が、障害があってもなくても、それぞれが繋がって個性的にクリスマス・コンサートを作り上げるという形へと舵を切るようになりました。ようやくにして地域貢献型の活動にたどり着いたように思います。金属疲労を理由にこれが最終、との思いから、地域の繋がりづくりの場として再出発しなければ、という思いです。いみじくも田中氏も同じようなことをツイッターでささやかれましたし、プロの目線で演出をしてもらって新たな境地を開いていただけることを夢みたいと思います。

今回は、運営資金の獲得で「足でかせぐ」と表現してもよいような事例がありました。地域に在住する同窓、教会メンバー、ワイズの支援など多くの個人からの募金を集めるために、この催しの意義と必要とする支援をお願いしました。また、新聞(神戸・産経)や宝塚市の広報への掲載のほか、阪急電車の中吊り広告が一層、地域貢献型の催しであることを印象づけてくれました。



宝塚クラブは昨年来、“集中と選択(S&C)”の考えで全ての活動を見直してきました。当然、市民クリスマスもその対象ですが、今後、企画・演出面で田中氏の手を借りること、資金面で市民活動助成金の獲得を目指すこと、運営面でワイズ単独の力仕事にならないように関係団体との協働体制を作ることにより、新たな形でこの事業を継続したいと考えています。

なお、今回の会計(速報)は別表の通り、ロビーで行った協力募金は125,210円でした。感謝。(別第15回市民クリスマス会計

(速報)YMCA 国際協力募金・災害復興支援募金 125,210円全額を神戸YMCAに献金します

収入の部		支出の部	
合唱団協力金	117,300	ホール代	191,300
宝塚教会献金・募金	35,000	ピアノ調律	22,000
甲東教会募金	27,500	謝礼6件	115,000
KG同窓会募金	28,538	練習会場	14,500
KC同窓会募金	11,000	印刷	29,067
ワイズ六甲部	50,000	郵送料	3,466
宝塚厚生幼稚園協力金	50,000	弁当・茶	51,308
ワイズ有志協力募金	25,000	菓子	6,804
宝塚ワイズ拠出金	90,867	その他	1,760
合計	435,205	合計	435,205

若林成幸

「宝塚ワイズメンズクラブメンバー」



「アンサンブル・ダカーポとキャロル合唱団」



「ポップン・リンガーズ」



関西学院大学フラサークル「マハロ」



15回目のキャロルを歌う夕べを終えて



宝塚クラブ入会直後からMCを担当して来ました。15回の前半とその後を比べてみると大きな違いと言うか変化を感じます。

まず出演者、グループの技術の向上です。特にポップンリンガーズの音楽的成長は年々感嘆します。又、関学三田フラガール、Mahaloは初めて出た10年前は7名の部員でした。今は40名を超す人気サークルになりキャロルにも20～30名の出演で華やかさを出しています。

そして大切なもう一つの違いは観客です。どんなコンサートか分からないで来られる時代から又大きな感動を貰おうと両手を広げ受け止める準備をして来られる方が増えたように思います。

素晴らしい司会だったと過分なお褒めを頂きますが15回にしてやっと分かりました。

客席と舞台とのパワーがスゴイのです。このパワーが私をリラックスさせ、言葉をひらめかせ両サイドをつないでくれるのだと。こんな空間に立てるのはこのベガホールのキャロルだけです。

来年からは若い力と感性が期待出来そうです。続けて行かなければいけない公演だと決意してチャレンジしてもらえそうです。どんな形で関わられるか分かりませんがこの15年間の感動をシェア出来たら、と思います。

石田由美子

関西学院大学フラダンスサークル Mahalo 代表2回生 白石田知佳

一年間を通して、数回に渡るワイズメンズクラブの方々とのイベントに参加させていただいたことで、改めてフラダンスの魅力やハワイ文化精神の魅力に気付くことが出来るとも嬉しい機会となりました。

その中でも、毎年Mahaloの1年生から4年生までのメンバーが参加させていただいている「キャロルを歌う夕べ」は、4回生卒業前の最後のイベントとして、私たちにとっても大切なステージになっています。そして、普段の活動とは異なった雰囲気があり、異なった経験をさせていただけるこのイベントは、私にとっても、思い入れのあるものとなっています。

生演奏や合唱団の方々、普段からMahaloの活動を支えていただいている石田先生と同じステージに立ち、多くの方々の前でフラダンスを披露することが出来るとも楽しいイベントです。

これからもフラダンスを通して、Mahaloとワイズメンズクラブの方々との交流が続いていくことを願っています。



関西学院大学フラダンスサークル Mahalo 4回生 片岡夏紀

大学で新しいことを始めたいと思い、フラダンスを始めてから4年が経ちました。4年間のフラダンス経験の中で、唯一毎年欠かさず参加したのがクリスマスキャロルです。中々立つことのできない立派な舞台上、生演奏・合唱で踊らせていただけるといって、とても素晴らしい経験になりました。毎年恒例の「きよこの夜」は観客の皆さんと踊り、一体感を感じることができ、とても楽しい思い出となっています。また、阪神・淡路大震災の復興支援ソングである「しあわせ運べるように」では、目を潤ませながら見てくださる観客の皆さんを見て、とても胸が熱くなりました。私は関西出身ではないので、この曲を知りませんでした。フラダンスを始めたことで、この曲知り、踊り伝えていくことができ、本当に幸せです。また、キャロルは私たち4年生に

とって引退のイベントです。これまでフラダンスを続けてきて、最後にこのような最高の舞台上で踊れたことは、一生の思い出となりました。

関西学院大学フラダンスサークル Mahalo 1回生 中野真結

キャロルに参加して改めて感じたのはフラって楽しいな、始めて良かったなということです。私は先輩方の笑顔と楽しそうな雰囲気に憧れ、フラダンスを始めました。実際やってみると手の角度や目線、足の動き等難しいことがたくさんで、私達 Mahalo が大切にしている歌詞の意味を感じながら踊るというのが出来ていなかったと思います。しかし、練習を積み重ねることで新しい曲やステップに出会え、フラの楽しさを心から感じる事が出来るようになりました。また、学内のイベントをはじめ、外部のイベントに参加することでフラを通してたくさんの人と関わりを持てることができました。

人生において人との出会いはとても大きなものだと思っています。だからこそ石田先生の繋がりや YMCA の方々や活動を知ることができたと思うし、これからもフラを通して様々な出会いがあると思うのでその機会を大事にしたいと思いました。フラのスピリットを大切にしながら、大学生活を更に豊かなものにしたいです。



YMCA だより

■2019 年度ラオスワークキャンプ募集中！

1984 年からチェンマイYMCAとタイワークキャンプを行っており、昨年度からは場所を変え、ラオス・ルアンパバーンでワークキャンプを行います。YMCAに所属しているユースやご家族、ご友人等に興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひお知らせください。なお、YMCAのスタッフやレイパーソン、ワイズから推薦を受けられるユース(高校生～)は、参加費補助があります。参加費 15 万円(燃油サーチャージ別途)から最大 10 万円までの補助を受けることができます。

日 時： 2020 年 3 月 21 日(土)～3 月 28 日(土)

開催場所： ラオス・ルアンパバーン

定 員： 先着 5 名

参 加 費： 150,000 円(燃油サーチャージ別途必要)

申込締切： 2020 年 1 月 24 日(金) 問い合わせ先:国際奉仕センター 078-241-7204

■第 38 回 チャリティーワインを楽しむ会

ソムリエ厳選のワインと素晴らしい料理と優雅な語らいで、友をみつけ、仲間とつながり、私がよくなっていく楽しい会です。「トアンテアン」は、ミシュランガイド二ツ星「ラ・メール・ブラジエ」初の提携店。本場フランスの伝統と文化を継承しながら、フランスと地元の厳選食材を用い、更なる進化したオリジナル

メニューを提供されています。洗練されたエスプリの融合、その美食の世界をご堪能ください。
この会の収益は、一部を「神戸YMCA子ども奨学金」に、一部を「東日本大震災および熊本地震の復興支援」に捧げられます。

日 時： 2020年2月7日(金)18:30～20:30

場 所： 神戸ポートピアホテル 31階 フレンチレストラン「トランテアン」

参加費： 10,000円

定 員： 60名

申込締切： 2020年1月27日(月) なお、定員に達した段階で締め切らせて頂きますので、ご了承ください。

問い合わせ先：神戸YMCA本部事務局 078-241-7201

■神戸YMCAサポートプログラム25周年記念シンポジウム

学び方の違う子どもたちに必要な支援を考える ～子どもたちが主体的に生きていく力を育むために～
保育や教育に関わられる方々、保護者、支援者の方々など、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時： 2020年2月29日(土)13:00～16:30(開場 12:15)

場 所： 西宮市フレンテホール

定 員： 300名 参加費：500円(当日受付にてお支払いください)

申込先 <http://urx2.nu/WA0r> もしくは、QRコードからお申し込みください。

2019-2020 宝塚ワイズメンズクラブ 事業・特別事業

事業委員		(委員長)		特別		(委員長)		
	Yサ・ユース	武田 壽子	西川 勝久	事業委員	NGO 連絡協 議会	鯖尻 佳子	堀江 裕一	福家 清美
	地域・環境	青柳 美知子	風早 寿郎		じゃがいも	小林 康男	吉田 明	風早寿郎
	EMC	若林 成幸	鯖尻 佳子		市民クリスマ ス	若林 成幸	吉田 明	長尾 亘
	広報・ブリテン	長尾 亘	福家 清美		〃		石田由美子	多胡 葉子
	交流・ファンド	福田 宏子	石田由美子					